

福祉文化学科 社会福祉専攻 (共通科目)

- 【沖縄大学の理念と共通科目】 沖縄大学の基本理念である「地域共創・未来共創の大学へ」を実現するために、他者との対話と協働を通じてより良い社会を作っていく力（共創力）を身に付けるための基礎を養成します。
- 【共通科目の学習・教育目標】 複眼的・総合的思考を可能とする幅広い教養を身に付けるとともに、他者と対話しながら主体的に学ぶことのできる能力（汎用的能力・ジェネリックスキル）を修得します。
- 幅広い教養…「沖縄関連」「総合」「人間・社会」「自然・環境」の科目群を通じて身に付けます。
多様性を理解・愛敬できる能力、ものごとを複眼的・総合的に考える能力を身に付け、共創力の基礎となることを目指します。
 - 汎用的能力…「健康関連」「言語関連」「情報処理関連」「キャリア形成・資格対策」「問題発見演習」の科目群を通じて身に付けます。
健康管理能力、日本語・外国語能力、情報活用能力等、どの分野を専攻する上でも必要となる汎用的能力（ジェネリックスキル）を養成することを目指します。

必修 選択必修

区分	学習・教育目標	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
共通科目	沖縄関連 地域の歴史・文化・民俗から芸能・文学まで、「沖縄」について幅広く学び、理解を深め、社会のキーパーソンとなるために必要な基礎を身に付け、「地域共創力」を身に付けるための知識と経験を養います。	沖縄の言語 近代沖縄文学 沖縄の文化Ⅰ・Ⅱ	沖縄の自然 現代沖縄文学 沖縄の民俗Ⅰ・Ⅱ	沖縄の地理 現代沖縄学入門 沖縄の歴史Ⅰ・Ⅱ	沖縄の芸能論 沖縄と移民 沖縄の女性史 沖縄の芸術 沖縄戦と記憶の継承(入門) <small>沖縄戦と記憶の継承(フィールドワーク)</small>		
	総合 1つのテーマ(戦後の日本と沖縄、現代の世界、ジェンダー学、ユニバーサル社会入門など)を異なる複数の分野・視点から考察するという複眼的・社会的思考の重要性を学びます。	戦後の世界 現代の世界 現代社会と哲学	沖縄大学論 戦後の日本と沖縄 言語学入門	ユニバーサル社会入門 福祉コミュニティ入門 心理学入門	ジェンダーから見る社会 ジェンダー学 現代社会の教育	現代社会のしくみ 地域活性化システム論 平和と人権	ジャーナリズム論 倫理学入門
	人間・社会 人間及び社会について、幅広く学びます。	文学入門 法学入門	政治学入門 社会人類学入門	青年期のこころの発達 文化人類学入門	現代社会論 文化社会学	歴史のみかた 日本国憲法	メディア文化論
	自然・環境 自然及び環境について、幅広く学びます。	生活の中の数学 教養数学Ⅰ・Ⅱ	統計学 統計解析入門	自然科学概論 地球の科学と災害	人類の進化と適応 生物保全Ⅰ・Ⅱ	環境と社会 環境マネジメント演習	環境概論 地域環境計画
	健康関連 身体的・精神的になお発達途上であるため、酒・タバコ・性などに関する知識や自主的に身体活動や運動を行って健康を管理する技能を身に付けます。	健康運動演習a 健康運動演習b <small>健康運動演習b(アダプテッド)</small>					
	言語関連 日本語能力は、明快かつ円滑なコミュニケーションを日本語で行う能力に焦点を当て、大学レベルの講義を受講するために欠くことのできない語学力を身に付けます。 外国語能力は、英語または中国語を通して日本語を母語としない人々と簡単な意思疎通ができるようになることを目指します。	日本語のシステムⅠ Oral EnglishⅠ Basic EnglishⅠ オーラル中国語Ⅰ ベーシック中国語Ⅰ	日本語のシステムⅡ Oral EnglishⅡ Basic EnglishⅡ オーラル中国語Ⅱ ベーシック中国語Ⅱ	フランス語入門 韓国語Ⅰ・Ⅱ 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB	ベトナム語入門 スペイン語Ⅰ・Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ	
	情報処理関連 IT社会に必要な情報活用能力や知識を身に付けます。	情報リテラシーⅠ キャリアデザイン入門	情報リテラシーⅡ TOEIC(Reading) ワープロ資格試験対策講座	情報倫理 情報システム概論 英検対策Ⅰ・Ⅱ 表計算資格試験対策講座 プレゼンテーション資格試験対策講座	ロボットプログラミング演習 プレゼンテーション演習 キャリア開発論 キャリア選択論		
	キャリア形成・資格関連 キャリアアップに役立つ各種技能試験の対策講座やキャリア支援・就職支援のための科目の学習し、自身の将来に活かすための方法を学びます。						
	問題発見 異なる背景を持つ他者と交流できる力(ソーシャルスキル)、大学で主体的に学ぶ(スタディスキル)、自身の生活・人生を設計する(ライフデザインスキル)の学びの基礎となる3つの力を汎用することを目指します。	問題発見演習Ⅰ 問題発見演習Ⅱ		2年次の基礎演習へとつなげます。			

福祉文化学科 社会福祉専攻（専門科目）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
 福祉文化学科社会福祉専攻では、124単位の修得と必修等の条件を充たした上で、以下のような能力・資質を涵養し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。
 (1) 幅広い教養と複眼的・総合的思考力（幅広い教養と人間の権利を擁護する力）
 幅広い教養を身に養い、人間の尊厳を遵守し且つ権利を擁護して、自らの社会的役割を遂行するための力を獲得します。
 (2) 主体的な学習力と他者との協働力
 (主体的に学び問題を発見し解決する力)
 人びとの多様性を理解し、社会で生起する事象に対し、自らが主体的に問題を発見し解決する力を修得します。
 (コミュニケーション能力と自己理解力)
 他者の話を傾聴し、受け止め、呼応するコミュニケーション能力を身につける。合わせて、他者と関わることで自己を知り、他者と自分を大切にすることができます。
 (3) 地域共創力（地域社会における共創力）
 共生社会を実現するために、地域における様々な人びとや関係機関等と共創する「地域に根差した福祉活動」のキーパーソンになることができます。
 (4) 専門的知識・技能の活用力（専門的知識と技術の活用力）
 すべての人が身体的・精神的および社会的に健康で文化的な生活を営めるように、社会福祉の価値および知識、技法を習得し活用することができます。

学習・教育目標

日本及び沖縄の歴史と文化の理解の上に、福祉の問題を広く人間の生活や文化から考察する能力を培い、高度福祉社会に対応できる福祉専門職を目指します。個人・集団・地域の生活問題（生活課題）を明確化でき、その問題・課題解決ができるような実践能力を身に付けた「社会福祉士」および「精神保健福祉士」等を養成します。

社会福祉士・精神保健福祉士共通科目
 社会福祉士科目（専門・演習・実習）
 精神保健福祉士科目（専門・演習・実習）
 必修 選択必修

区分	学習・教育目標
----	---------

学部共通 基礎科目	人文科学の諸領域を学んでいく上での基礎となる知見や学問的方法論を身に付けます。
--------------	---

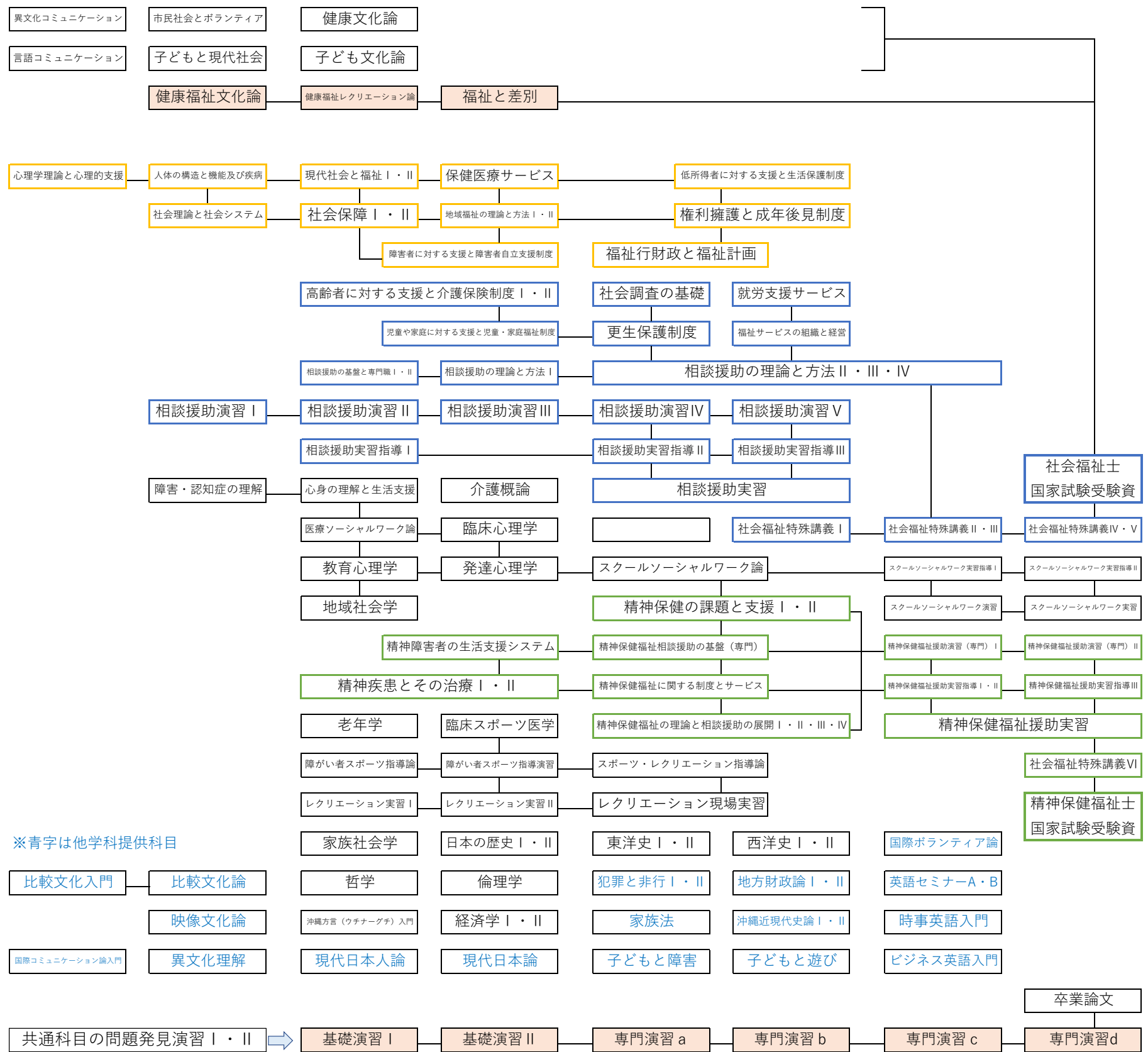
基幹科目	専門科目を学習していく上での基本的、導入的知識を学ぶとともに学問への問題意識や方法論、専門的視野を養います。
------	--

専攻 専門科目	社会福祉の対象である生活問題（生活課題）、社会的問題、個人的・地域的問題等、社会福祉政策・制度の体系と実践・技術の体系を学びます。
------------	---

専門科目 専攻自由 選択科目	教学及び福祉の問題を幅広く学び、広く人間の生活や文化から考察する能力を培い、個人・集団・地域の生活問題（生活課題）を明確化した上で問題・課題解決ができるような実践能力を身に付けます。
----------------------	---

門専 演攻 習専	福祉についての専門性を高め、地域社会の課題解決や探求を行うための専門的知識・技能を総合的かつ実践的に習得します。
----------------	--

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----



社会福祉士
国家試験受験資

社会福祉士科目
社会福祉特殊講義Ⅳ・Ⅴ

精神保健福祉士
国家試験受験資

精神保健福祉士科目
精神保健福祉援助実習Ⅲ

福祉文化学科 社会福祉専攻（専門科目）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
 福祉文化学科社会福祉専攻では、124単位の修得と必修等の条件を満たした上で、以下のような能力・資質を醸成し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。
 (1) 幅広い教養と倫理的・総合的思考力（幅広い職業と人間の尊厳を擁護する力）
 幅広い職業を身に付け、人間の尊厳を遵守し且つ職務を履修して、自らの社会的役割を遂行するための力を獲得します。
 (2) 主体的な学習力と他者との協働力
 主体的に学び問題を発見し解決する力
 人びとの多様性を理解し、社会で生起する事象に対し、自らが主体的に問題を発見し解決する力を獲得します。
 (コミュニケーション能力と自己理解力)
 他者の話を傾聴し、受け止め、対応するコミュニケーション能力を身につける。合わせて、他者と関わることで自己を知り、他者と自分を大切にすることができます。
 (3) 地域貢献力（地域社会における貢献力）
 共生社会を実現するために、地域における様々な人びとや関係機関等と共創する「地域に根差した福祉活動」のキーパーソンになることができます。
 (4) 専門的知識・技能の活用力（専門的知識と技術の活用力）
 すべての人が身体的・精神的および社会的に健康で文化的な生活を営めるように、社会福祉の健康および知識、技法を習得し活用することができます。

学習・教育目標

日本及び沖縄の歴史と文化の理解の上に、福祉の問題を広く人間の生活や文化から考察する能力を培い、高度福祉社会に対応できる福祉専門職を目指します。個人・集団・地域の生活問題（生活課題）を明確化でき、その問題・課題解決ができるような実践能力を身に付けた「社会福祉士」および「精神保健福祉士」等を養成します。

- 社会福祉士・精神保健福祉士共通科目
- 社会福祉士指定科目（専門・演習・実習）
- 精神保健福祉士指定科目（専門・演習・実習）
- 必修
- 選択必修

区分	学習・教育目標
学部共通 基礎科目	人文科学の諸領域を学んでいく上での基礎となる知見や学問的方法論を身に付けます。
基幹科目	専門科目を学習していく上での基本的、導入的知識を学ぶとともに学問への問題意識や方法論、専門的視野を養います。
専攻専門科目	社会福祉の対象である生活問題（生活課題）、社会的問題、個人的・地域的問題等、社会福祉政策・制度の体系と実践・技術の体系を学びます。
専門科目	教学及び福祉の問題を幅広く学び、広く人間の生活や文化から考察する能力を培い、個人・集団・地域の生活問題（生活課題）を明確化した上で問題・課題解決ができるような実践能力を身に付けます。
専攻自由 選択科目	
門 専 攻 演 習 専 門 目	福祉についての専門性を高め、地域社会の課題解決や探求を行うための専門的知識・技能を総合的かつ実践的に習得します。

